

日本初地中熱利用物流センター

物流センター2015年7月稼働(クリーンエネルギーでクリーン環境を)

当社は以前より食品の知産知消を進めてまいりましたが、この度エネルギーの地産地消をも取り入れた物流センターを新設しました。この物流センターは、地球温暖化が進む中、省エネルギーを強化し、衛生管理された建物となっています。特に地中熱利用の荷さばき室などは日本で初めてのシステムを提案し、経済産業省・資源エネルギー庁が推進する省エネルギー実証事業において、一次エネルギー消費量を54%削減できることによりZEB事業として採択されました。これからもエネルギーの削減と食品の安全をテーマに取り組んで、より一層の食の安心安全に努めてまいります。

荷捌き所○



- ・加圧設計により、外気の流入防止。虫等の侵入を防御。
- ・地中熱システムにより作業空間を低温に保持。

小分け室○



- ・クリーンな低温小分け専用作業室を設置。

商品開発室○



- ・知産知消商品やオリジナル商品の開発が可能。

・赤外線監視カメラ14台で社内外を24時間監視し安全性を確保しています。

・緊急時用の発電機。停電時自動起動で冷凍庫を守ります。



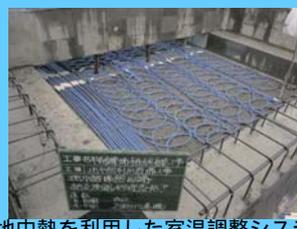
・ノータッチトイレの採用  
入る処から出るまで一切手を触れません。



甲信食糧の地球温暖化防止への取り組み。



太陽光発電によりCO<sub>2</sub>削減。



地中熱を利用した室温調整システムにより消費電力削減。



照明をLED化し、昼光センサーにより過剰照明を減らし、省エネ化しております。